



8月も後半に差し掛かりましたが、まだまだ厳しい暑さが続いております。
疲れた体を癒しつつも、これからの授業や行事が気になるところ。
教育ライブラリーには、たくさんの教育図書、研究紀要・論文、教育雑誌、視聴覚資料などがあります。
授業準備や行事計画にぜひお役立てください。教育ライブラリーでは、閲覧はもちろん貸出もできます。
基本的に土曜日でも利用できます。開館予定日は当ホームページでご確認ください。

書籍紹介

①「10代と考える『スマホ』 ネット・ゲームとかしこくつきあう」

竹内和雄/著

(岩波ジュニアスタートブックス 2022年発行)

子どものスマホをどうするか。子育て中の方や子どもの教育に携わる者にとっては頭の痛い問題です。そういう大人だって、しなければいけないことがあるのについついスマホに手を伸ばしてしまい、いつまでたっても始めることができない。人のことは言えません。ここはスマホの利用について一緒に考えてみるしかなさそうです。そのときに役立つのがこの本です。そもそも子どもたちのスマホ利用の現実はどうなっているのか。平均して1日に何時間くらい使っているのか。長時間使っている子どもたちにはどういった傾向があるのか。第2章「みんなはスマホをどう使っている？」では、大規模なアンケート調査を基に、子どもたちのスマホ利用のリアルな姿が照らし出されます。そして第3章「ネットのトラブルに学ぶ」では、実際に子どもたちが巻き込まれた事件や問題の数々が紹介されています。弊害も多いスマホですが、もはやスマホなしの生活に戻ることはできません。そこで重要なのは、月並みな解決法ですが、話し合ってルールづくりをすることです。本書ではルールづくりの要点や実例も紹介されています。読んでいくうちに、スマホの奴隷になるのではなく、かしこく付き合っていくために、一度話し合ってみようかという気になってきます。大人にとっても子どもにとっても、平易な語り口ですんなりと頭に入ってくる良書です。

②「フェイクニュース時代の科学リテラシー入門」

竹内 薫/著

(ディスカバー携書 2024年発行)

玉石混交の情報があふれる今日、私たちは知らず知らずのうちにフェイクニュースや間違った情報に惑わされてしまうことがあります。本書は、そのような時代を生き抜くために必要な「科学的リテラシー」について、分かりやすく解説した一冊です。

第1章では、私たち特に日本人が陥りやすい三つの思い込み「科学的に正しいことは、100%正しい」「科学の力は万能である」「専門家が言うなら正しい」について取り上げ、その危うさを丁寧に解き明かしています。第2章では、身近な事例を挙げていきながら、非科学的な思考がどこにひそんでいるのかを紐解いています。普段何気なく受け取っている情報を見直す視点が得られる内容です。そして第3章では、科学的リテラシーを身につけるための方法や考え方が紹介されています。

著者は、高エネルギー物理学を専攻した理学博士であり、分かりやすい科学解説や科学評論

に定評があります。そのため、「理系の話は苦手」と感じる方にも読みやすく、自然と内容が頭に入ってくる構成になっています。科学的リテラシーとは、特別な知識を身につけることだけでなく、目の前の情報を一步踏み込んで確かめる姿勢や思考力を養うことでもあります。

SNS の情報の洪水に危機感を抱いている方、STEAM 教育での文理の融合に関心がある方、また総合学習で情報収集を行う際の指針を求めている方には参考になるものと思います。本書は、これから情報社会を生きる上での「考える力」を育ててくれる一冊と言えるでしょう。

雑誌紹介

雑誌名	号	特集等（抜粋）
国語教育 (明治図書)	8月号	【特集】国語教材徹底ビジュアル解剖 ◇徹底解説 教材構造のつかみかた ◇「挿絵」から探る教材研究の世界 ◇ビジュアル解剖 国語教材研究 説明文編 文学編 ◇ビジュアル整理 AIで捗る教材研究法 【連載】◇世界一わかりやすい 今月の指導案図解 ◇図解でわかる 新学習指導要領のキーワード ◇多様性を包摂する国語授業づくり 「包摂性を高める発問」の生かし方 ◇国語教育この論文 「読み」の授業は生徒の自発的な読書につながるか ◇今月の国語の学びレポート 〈討論〉で編む、新しい「戦争文学」 「かわいそう」を超えて、記憶の「たずねびと」になる
社会科教育 (明治図書)	8月号	【特集】学びをつなぐ！導入と接続を意識した系統的な授業デザイン ◇学びをつなぐ！導入と接続を意識した社会科授業デザイン 小中高の系統性と地歴公の体系性を考える ◇分野横断的視点を取り入れた体系的な授業づくり 成功のポイント ◇子どもの好奇心を活かす！ 地域の特色を踏まえた小中高のフィールドワーク ◇小中高の学びをつなぐ！ 導入と接続を意識した「新設単元」授業づくりアイデア ◇既習事項を学びに活かす！ 小中高の系統性を踏まえた各分野の授業デザイン ◇「つきたい力」の系統的・段階的育成を目指す授業デザイン 「見方・考え方」「探究力」「市民性」「公共性」
新しい算数研究 (東洋館出版社)	8月号	【特集1】「図形」における高次の資質・能力を育成する数学的活動 ◇場面を超えて働く図形の学びのために ◇対称の図形 「対称の眼鏡」で伝統の美に隠された文化を解き明かそう (伝統文様「麻の葉」に潜む数学的節約性の探究) 6年 【特集2】子どもの個性・多様性を生かす算数の授業づくり ◇インクルーシブ算数教育のデザインに向けて ◇多様な見方を接続し再構成する算数授業 第1学年「かたちあそび」における概念形成の再設計 ◇子どもの個性・多様性を生かす算数の授業づくり 第2学年「はこの形」の実践から

		◇子どもの経験知を活かした算数の授業づくり 第3学年「長いものの長さのはかり方と表し方」の実践から ◇児童の「困った」「分からない」に寄り添う算数の授業づくり 第5学年「小数のかけ算」の導入場面における授業実践 他
数学教育 (明治図書)	8月号	【連載】A Iで数学教育はこう変わる ◇授業の中で活用する A Iの回答を導入に使う A Iの解答例を吟味し、理解を深める A Iで「個別最適な学び」を実現する 生成A I相手に作問学習を行う ◇思考力を育てる 批判的に読み解く力を育てる 壁打ちで数学的説明力を育てる 多角的な視点を育てる 条件を変えて数学を探究する力を育てる ◇教材づくりを支える 教材研究のための先行研究を効率よく調べる コードを活用し、作業を自動化する 問題や課題に適した図を生成する 複雑な問題を短時間で作成する 問題作成・誤答例作成のブラッシュアップをする ◇数学の理解・体験を深める 放物線を体験できるゲームをつくる 生徒の意味理解を問い直し、関数概念の理解を深める 学習支援システムをつくる 他
理科の教育 (東洋館出版社)	8月号	【特集】知りたい！すぐれた理科の実践2026 各支部の推薦から ◇理科授業における実験時の動画撮影の効果に関わる一考察 理論編：ICT・生成AIと多様なアプリを活用した理科授業 ◇自律した問題解決者を目指した理科の授業実践 メタ認知的知識の獲得と活用を促すカード実践「RICARD」 ◇粒子概念を深める小学校第5学年「物の溶け方」の授業開発と評価 ◇DNAの立体構造理解を促すAR教材の開発と実践 ◇持続可能な開発を文脈とした酸化還元の実践 国際バカロレアにおける教科横断的な学び ◇自己調整学習の理論に基づいた理科授業デザインと実践 他
英語教育 (大修館書店)	8月号	【第1特集】要約指導におけるテクノロジーの活用 ～学習を促す評価の視点から～ ◇要約指導のポイント：理論とタスク設計、ルーブリック評価を中心に ◇新しい英文要約学習システム W-Writing と学習者のエンゲージメント ◇チェックリストに基づくフィードバックの生成AIによる自動化 ◇要約指導における自動フィードバック活用と教師の役割 【第2特集】外国語評価リテラシーを高めよう ◇テストの結果をどう読むか：学力調査と生成A Iから考える評価リテラシー ◇中学校英語学力調査におけるC B Tの実施とその影響 ◇生成A I時代の「書くこと」のパフォーマンス評価 ◇「小学校英語のせい」にする前に：中3英語力低下を冷静に読む

道徳教育 (明治図書)	8月号	【特集】徹底研究 教材「手品師」2026 ◇手品師（教材全文） ◇「手品師」で今何を問うのか ◇「手品師」研究 作者研究から作品批判まで ◇各分野の研究者は「手品師」をどう読むか ◇教科書比較でみる「手品師」 ◇スペシャリストは「手品師」をこう考え、こう授業する ◇Q&A「手品師」の疑問・悩みを解決します！ ◇多様なアプローチでつくる「手品師」の授業 ・問題解決的な展開 ・体験的な学習を用いた展開 ・ICTを活用した展開 ・哲学対話(p4c)を用いた展開 ・ウェルビーイングカードを用いた展開
授業力&学級経営 力 (明治図書)	8月号	【特集】授業も学級づくりも進化する Canva「使いこなし」図鑑 ◇「浅い」活用で終わらせない！ Canva「使いこなし」5つのルール ◇7日間で完成する Canva スタートアップガイド ◇先生の Canva 活用は、「超シンプル」がうまくいく！ ◇先生の仕事が変わる！ 場面別 Canva フル活用アイデア ・すぐ使える！ 日常業務編 ・クラスが変わる！ 学級づくり編 ◇子どもの学びがかわる！ 教科別 Canva フル活用アイデア 【小特集】2学期のクラスづくり、授業づくり ◇より「自立した学習者」に育てるための学習環境の整え方 ◇3視点で見る 夏休み明けの学級チェックポイント 「生活態度」「学習態度」「対人関係」 ◇「むずかしい学級」の2学期のクラスづくり ◇「やりすぎない」行事指導
生徒指導 (学事出版)	8月号	【特集】いじめ、起こさない／起こったらを考える ◇いじめ調査を「誰のため」「なんのため」に行うのか ◇現場目線からのいじめと組織対応 ◇いじめ防止対策推進法の「運用」に際して考えるべき保護者との連携 ◇加害者支援という視点から ◇なぜ学校は「隠ぺいしている」といわれるのか？ 【連載】◇ルールメイキングを通じ、「誰一人置き去りにしない」学校へ ◇大学だから見えた不登校支援の新たな知見 安心できる関係形成を基盤とした地域連携支援モデル
教職研修 (教育開発研究所)	8月号	【特集1】教職員の成長、管理職の成長、学校の成長 ◇教師が「学び続け」るために 何を学び続けるのか考える ◇教師の成長を支える学校と校長について考える視点 ◇校内研究、行政研修 ◇個を活かし、個が活きる「適材適所」の組織デザイン ◇柔軟な教育課程編成 ◇管理職はいつ、どこで「成長」する？ ◇校長の限界を学校の限界にしない 教育長の校長評価

		◇子どもの「成長」を願うからこそ、大人は「成熟」を 【特集2】若手が困る、校長も困る 管理職との一致とすれ違い ◇若手の本音、若手への本音 ◇私、〇日でやめました ◇中堅教員 板挟みか架け橋か ◇管理職に今できること
初等教育資料 (東洋館出版社)	8月号	【特集】改訂に向けた検討事項と、今、大切にしたい取組⑤ ◇外国語・特別活動ワーキンググループの主な審議事項 [外国語活動・外国語] ◇現行学習指導要領の趣旨の徹底と実現に向けた外国語活動及び外国語科の授業づくり ◇題材設定を工夫し、子供が自分の考えや気持ちを伝え合う楽しさを実感する授業づくり(第4学年) ◇読みたい・書きたいを引き出す題材設定と、単元を通した段階的な指導の工夫(第6学年) [特別活動] ◇一人一人の思いや考えを大切にした学級活動(1)の指導の工夫 ◇子供たちの思いや願いを可視化し実現につなげる代表委員会の指導の工夫
中等教育資料 (学事出版)	8月号	【特集】学習指導要領改訂に向けて 各教科等別ワーキンググループにおける審議状況⑤ ◇外国語ワーキンググループにおける審議状況① ◇特別活動ワーキンググループの主な審議事項 【連載】◇「自立した学習者」を育てる教育活動の在り方 愛知県 ◇「デザイン思考」による新型探究学習 学科改編を利用した探究学習改革 宮城県宮城野高等学校 ◇各教科等の改善／充実の視点
実践みんなの特別 支援教育 (Gakken)	8月号	【特集】どう見つける？どう作る？子どもにぴったりの教材ガイド ◇スヌーズレンで理科「光の不思議」の学習 ◇スマホとタブレットを用いた学級での取り組み ◇自分らしく学ぶための道具と環境の整え方 ◇Learner Friendly な英語教材の活用 ◇学びへのアクセスを支える算数教材 動かすからわかる「Math シリーズ」 ◇楽しみながら自然に定着する九九の覚え方と「九九チャレンジ」 ◇読み書きに困難がある子どもの「読めた!」「書けた!」を増やす漢字教材 ◇学んで、生活に役立つ! 学びの手がかりになる、SST 教材 ◇アナログとデジタル、両方のよさを生かす Drops の絵カードで作ることばの教材 他
特別支援教育研究 (東洋館出版社)	8月号	【特集】豊かな放課後・土日休日・夏休み! ◇障害のある子供の放課後等の過ごし方の現状と課題 ◇放課後の過ごし方の変化と保護者の願い ◇生徒が主役となる部活動 ◇こども主体でつくる豊かな放課後

		◇特別ではない「当たり前」の居場所を目指して ◇みんなが主役！げんきクラブ ◇「好き」から始まる居場所の取り組み ◇知的障害のある子どもの豊かな余暇を支える 【連載】◇すぐに試せる！環境のユニバーサルデザイン ◇自立活動の視点で教材・教具を工夫する 手・指の巧緻性の向上や目と手の協応動作
特別支援教育 (東洋館出版社)	夏号	【特集】小・中・高等学校における特別支援教育の充実 ◇吃音のある児童への指導・支援 ◇通常の学級における視覚的な配慮の工夫 ◇自閉症・情緒障害特別支援学級の異学年集団における授業づくりの工夫 ◇高等学校における校内支援体制整備と通級による指導の充実 ◇医療的ケアを必要とする児童生徒の学びを支える支援体制の工夫 ◇高等学校における病気療養児への支援の充実 ◇あの子の「困った」がみんなの宝物になる支援の可能性(特別支援学級) ◇チームで支える特別支援教育校内支援体制充実事業における特別支援学校のセンター的機能を活用した校内支援体制充実に向けた取組 【連載】◇「FUN LIBRARY (楽しい図書)」のある教育 ◇視覚障がい教育を支える学生サークル活動
学校図書館 (全国学校図書館 推進協議会)	7月号	【特集1】各地の子ども読書活動推進計画の今を見る ◇岡山県における子どもの読書活動推進計画について ◇デジタル読書環境の整備で変わる学校連携 ◇第4次宇美町子ども読書活動推進計画 【特集2】読書感想画に取り組もう I ◇小学校：読書環境の充実と読書感想画指導の取組み ◇小学校：自分の「すき」を見つけてのびのびと表現するために ◇中学校：読書感想画中央コンクール文部科学大臣受賞を振り返って ◇高校：心を形にする美術教育 読書感想画を通して育む豊かな感性と創造力 【第28回「学校図書館出版賞」選考報告】 【第6回「情報活用授業コンクール」選考報告】
高校教育 (学事出版)	8月号	【特集】自治体が描く「次」の高校教育像 ◇人口減少社会の高校改革、これまでとこれから ◇高校教育改革を考えるうえで大切にしたいこと ◇東京都が進める「新たな教育のスタイル」 ◇県立高校を新たなステージへ 富山県「新時代とやまハイスクール構想」の推進 ◇さらなる魅力と活力の向上に向けて 兵庫県の高校教育改革 【連載】◇〈インタビュー〉少子化時代の高大接続／連携 ◇探究リポート 探究活動プランニングのポイント ◇「探究」を探究する 「調べ学習」から「本物の探究」へ ◇ちょっと拝見 学校訪問 教員と生徒の主体性を呼び覚ます 「傾聴と伴走」のリーダーシップ 大阪夕陽丘学園高等学校

学校事務 (学事出版) 8月号	【特集】外国にルーツをもつ子ども・保護者への支援 ◇外国ルーツの子どもたちをめぐって、心に留めておきたいこと ◇窓口からはじまる多文化共生 ◇国籍も年齢も多様な夜間中学校でのサポート ◇外国籍の子ども支援から見たもの 【巻頭インタビュー】 セクシャルマイノリティーの視点から考える教育現場の多様性とは 【特別企画】A Iを活用した学校事務の高度化に向けて 香川県立坂出商業高等学校 事務部長 岡 利旨久 【連載】◇自作システムでちょっと便利！ 旅費計算支援システム ◇今月の書評『一人配置を武器にする 学校事務職員の業務ハック』 ◇実践のススメ 共に創る働きやすさの追求と意識改革の歩み ◇気になる教育トピック 野川孝三ポイント解説 文部科学省による学校の働き方改革に関わる通知
教育ジャーナル (Gakken) 33号	【特集】「裁量的な時間」 ◇今だから「小学校40分授業午前5時間制」を考える ◇「40分授業午前5時間制」実践レポート 教科等を補完する時間で一人ひとりの「やりたい」を引き出す 【連載】◇一生懸命に励ましているのに、やる気を出してくれません ◇「校長アンケート」日々の一喜一憂はどんなことでしたか？ ◇夏休みはマイ探究のインキュベーター